

事業収入減少比較表【創業・新規開業特例】

(宛先) 松山市長

金融機関から融資を受け、又は支援機関による経営支援等を受け事業を進めている事業者であって、対象月となる令和3年6～9月との比較を行うことが困難である令和2年12月1日から令和3年8月31日までの間に創業又は新規開業した中小企業者等

以下の①，②のいずれかをチェックし，満たす要件を記載。

- ①令和3年6～9月のいずれかの月の事業収入が，金融機関融資審査時の事業計画等で想定していた令和3年6～9月のうちの同月の事業収入と比較して，30%以上減少している。

(1) 令和3年6～9月いずれかの月の月の事業収入

【月】	<u>×月</u>	
【事業収入】	200,000 円	・・・ア

(2) 金融機関融資審査時の事業計画等で想定していた令和3年6～9月同月の事業収入

【月】	<u>×月</u>	
【事業収入】	300,000 円	・・・イ

$$[(300,000 \text{ 円(イ)} - 200,000 \text{ 円(ア)}) \div 300,000 \text{ 円(イ)} \times 100] = 33.3\% (\geq 30\%)$$

- ②令和3年6～9月のうち任意の連続2か月の月間事業収入が，金融機関融資審査時の事業計画等で想定していた令和3年6～9月のうちの同月の事業収入と比較して，各月が連続して15%以上減少している。

(1) 令和3年6～9月のうち任意の連続2か月の月間事業収入

【月】	<u>×月</u>	<u>×月</u>	
【事業収入】	250,000 円	240,000 円	・・・ア

(2) 金融機関融資審査時の事業計画等で想定していた令和3年6～9月同月の事業収入

【月】	<u>×月</u>	<u>×月</u>	
【事業収入】	300,000 円	300,000 円	・・・イ

$$\text{㉑} [(300,000 \text{ 円(イ)} - 250,000 \text{ 円(ア)}) \div 300,000 \text{ 円(イ)} \times 100] = 16.6\% (\geq 15\%)$$

$$\text{㉒} [(300,000 \text{ 円(イ)} - 240,000 \text{ 円(ア)}) \div 300,000 \text{ 円(イ)} \times 100] = 20\% (\geq 15\%)$$

※㉑の(ア)，(イ)には，連続2か月の早い月の事業収入。㉒の(ア)，(イ)には，遅い月の事業収入。

上記内容に相違ありません。

申請日の日付

令和3年 月 日

(申請者)

名称又は屋号： _____

代表者役職・氏名： _____

【法人の場合】 株式会社〇〇 代表取締役 応援 太郎

【個人の場合】 〇〇商店(屋号) 応援 太郎

※様式第1号に記入した内容と同一に

※氏名訂正不可